

「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

□ 行政区 つつじヶ丘

□ 日時 平成 30 年 11 月 20 日 (火) 午後 7 時～午後 8 時 42 分

□ 出席者 (市民) 40 人 (当該区 : 30 人 その他 : 10 人)
(執行部) 15 人

市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、健康福祉部長、都市整備部長、観光経済部長、教育部長、教育部理事、議会事務局長

(事務局) 4 人

経営企画課長、地域コミュニティ課長、広聴広報係長、広聴広報係員

□ 会議内容

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1 開会のことば | 午後 7 時～ |
| 2 自治会長あいさつ | 午後 7 時 3 分～ |
| 3 市長あいさつ | 午後 7 時 5 分～ |
| 4 市からの説明
・防災について
・ごみ減量について | 午後 7 時 29 分～ |
| 5 意見交換 (別紙) | 午後 7 時 40 分～ |
| 6 閉会のことば | ～午後 8 時 42 分 |

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見	所信表明にある第4のプランに関連して、バス路線の利便性について。まほろば号の延伸をぜひお願いしたい。住民も高齢であり免許の返上もしている。あと数百メートル上までバスが来てくれないか。	(市長) 以前からのご要望ということで、引き継ぎの中で伺っております。コミュニティバスは市の財政負担が既に非常に大きい一方で、バス停まで遠い、上り坂がきついといったご指摘もございます。自治会長などとの協議も行ったうえで、何とか上のほうまで路線を延長できるよう努力したいと思います。もう少し時間をいただき、前向きに検討させていただきます。
質問者 2	意見	現在はまほろば号の利用者は少ないように思われるが、大野城の人もたまに利用しているようだし、上のほうまで路線を延伸してもらえば、利用者は増えるのでは。高齢化もありなんとかできないものか。バスが来れば住民が利用するようになるのでは。	(市長) 先ほどのご意見と同様に、バス路線の延伸については前向きに進めてまいりたいと思います。また、ニーズが高い地域がある一方で、財政負担も大きいと、将来的には料金の見直しなどの議論も行わなければ、とも考えております。
質問者 3	意見 1	同じくバスについての要望である。乗車率の問題などについても理解している。ハローデイが無料でバスを出しているなど、民間業者がそういった活動を行ってもいい。市でもぜひお願いしたい。	
	意見 2	まちづくりの件について、7つのプランにもあるが、人口問題を抱える中で10年、20年後の大まかな市のイメージを市長はどのように考えているのか聞きたい。	(市長) 10年、20年先まで実際に取り組むことができる年齢であるので、中長期的な視点で考えてまいります。(従来の基本方針である)「歴史とみどり豊かな文化のまち」も大切な視点ですが、私自身としてはそれに加え、新たな発展を可能とし、太宰府に住んでいる地元住民の皆さんに喜んでいただけるようなまち、「住み続けたい」と思えるまち、県外に出て行った子どもたちが「戻ってきたい」と思えるような住みよいまちにしたいと考えております。 また、多くの観光客がいらっしゃいますがそれを取り逃している面が大きいと、自主財源を確保するためにも、市全体を回

		質問・意見等	区に対する回答
			遊してもらえようなまちづくりを考えております。
質問者 4	意見 1	「旅人」が市内を走っている様子を見かける。おそらく市の公用車であるが、これは業務用として使用しているのか。またこのような公用車は何台あるのか。私自身としては太宰府のまちと「旅人」という名前がマッチングして良いと思っている。	(観光経済部長) 西鉄電車の「旅人」に続く形で、博多と太宰府を結ぶバスの「旅人」が運行を開始しました。その後、評判が良かったため西鉄側から「力を入れたい」との申し出がありラッピング車を導入致しました。同時に、本市が博多どんたくに参加する際に「旅人」を PR するものとしてラッピング車を 1 台用意致しました。さらにその後も「旅人」を引き続き PR するため、西鉄のご厚意でラッピングした公用車を走らせている次第です。
	意見 2	防災無線について、災害時には頻繁に情報が流れてきて大変良かった。市としての総合的なご意見を聞きたい。	(総務部長) 地形の関係や窓を閉め切った状態などでは聞きにくいというご指摘もあり、随時検証を行って調整を行っております。しかし防災無線だけでは限界がございますので、防災メールまもるくんなどのツールも補完的に使用して頂けますようお願いいたします。
質問者 5	意見	防災メールなどに登録しており、7月の豪雨の際には情報を伝えてくれてありがたかった。しかし「解除しました」というお知らせを真夜中に発信されるのは困る。	(総務部長) 配信する時間帯について内部で協議したいと思います。
質問者 6	意見	7月豪雨の際に近辺は大変な状況であったが、大きな災害が起こる前に、ああいった豪雨の後の聞き取り調査を実施してはどうか。被害がなかった地域もあの時どんな状況だったのか、市民はどんなことが不安だったのかを知ってほしい。豪雨の経験をどんなふうにかしたのかを聞きたい。	(市長) 様々な地域の方が怖い思いをされました。 避難指示を出した後、避難所が適切に運営されているか、自治会を通して確認を行いました。市民の皆様のご不安等のお気持ちについては、今回の「語る会」のような機会を通じて皆さんの状況を伺いたい、という思いで取り組んでおります。 これからの時代、どこでも豪雨はありえます。市としても災害が起きた場合のコミュニケーションを今後行っていきたいと考

		質問・意見等	区に対する回答
			えています。さらに今回、避難指示が上手く伝わっていなかったという現実もありましたので、本当に危険な地域を限定するなどして伝達していくという方法も検討してまいります。
質問者 7	意見	都市計画推進委員会の委員をしているが、西鉄五条駅辺りが市のメインであるという議論が行われている。しかしマミーズや佐賀銀行が撤退するなど、衰退の話しか耳に入らず、これでは到底中心部にはなりえない。大佐野交差点の辺りが賑わっているのであの辺りをメインに持ってきては。そういった市の中心部の将来像について市長の考えを聞きたい。	<p>(市長)</p> <p>西鉄五条駅周辺を「太宰府における天神」のようにとらえているわけではなく、一つの拠点として考えております。西鉄五条駅周辺には公共施設が多く、特にいきいき情報センターは今後さらに活用する可能性があります。喫緊の課題として五条駅周辺に変化が生じてきていることから、五条駅を特に取り上げている次第です。</p> <p>また、西の地域を軽視しているということでもなく、建物を高層化し近代的な開発を進めるなど、歴史と自然だけではなく、各地域で特色を持たせて開発をすることも可能であります。平成33年からの総合計画においてはそういった総合的な地域計画を盛り込みたいと考えているところです。</p>
質問者 8	意見	太宰府西小学校のところに韓国語と中国語で「国際理解教育」と書いてあるのを目にした。この2か国だけが国際理解につながるのか。国際理解というなら英語も必要ではないのか。そういった教育の在り方はどのようになっているのか。	<p>(教育長)</p> <p>塀のところに2カ国の言葉であいさつが書いてありますが、そのことだと思われま。各校で特色のある取り組みを行っていかうとなった中で、太宰府西小は「国際交流」を推進しております。そこでまずは身近な国からという流れで、中国語と韓国語の2カ国語で各国のあいさつが表記されているところです。現在は英語教育にも力を入れており、多彩な交流も行っておりますが、そういった取り組みの始まりがその2カ国であったということで残っているものであります。</p> <p>【後日回答】</p> <p>太宰府西小学校は、「国際理解は人間理</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>解」という理念をもって国際理解教育に取り組んでおります。この理念は、「国際理解教育は、韓国と中国あるいは諸外国、地域の言葉や文化などを学ぶことを目的とするのではなく、違いを認め合い尊重することを目的とする」ものでございます。現在、児童・教員・PTAの相互訪問による交流をおこなっておりますのは、韓国百済初等学校だけであり、両校が強い友好関係にあることは間違ございません。しかし、12月に開催している「ワールド交流会」については、例年、約30の国と地域の留学生と英語による交流をおこなっており、対象国を韓国や中国に限った国際理解教育をおこなっているわけではございません。</p>
質問者9	意見	<p>筑紫保育園の移転の話が気になり。国から補助が出ていないという。なんとか移転せず、無駄なお金を使わずに工夫して道路を作れないか。</p> <p>また、移転した後の借地料も市が負担しなければならぬというような話も聞いた。予算が多くかかる場合には、広く情報を出して市民と一緒に考えられるようにしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>開かれた市にするべく、工夫してまいりたいと思います。</p> <p>筑紫保育園については議論も重ねてきましたが、結論から述べると、現在のいびつな道路の改修は必要であります。さらに、保育園移転の補償をする、ということで私の就任前から合意を得てきましたので、私の代で反故にすることは非常に困難な選択です。ただ、移転のためには国や県の補助が必要だということで一旦凍結しております。保育所も老朽化していますし、待機児童も多い状況でありますので、建て替えて定員を増やしていただいてそういった問題を解決するという考え方もございます。</p> <p>また、借地料を市が支払わなければならないというのは誤解でありまして、保育所が支払うものであります。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 10	意見 1	<p>太宰府市で最も求められているものは財政面であろう。現在ふるさと納税について話題だが、市としてはどのような考えを持って活動しているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>自主財源を増やすことを重点に置いて考えており、長期的な視点では、多くの世代（特に子育て世代）が流入できるようなまちづくりを推進してまいります。一方ふるさと納税は、比較的短期間で財源を増やす手立てとして有効であります。以前は1つのサイトからしか寄付できませんでしたが、サイトを3つに増やし、まずは本市に寄付できる手段を増やすに至りました。</p> <p>中身となる返礼品についても、ルールに則ってやっていくべきでありまして、例えば太宰府産のうめなど、太宰府市ならではのものがいいか積極的に呼びかけていくほか、太宰府市全体を観光ルートとして巡るツアーなどを商品として開発したりするようなこともできるのではないかと考えているところです。</p>
	意見 2	<p>太宰府市は産業もなく観光ばかり。奈良市も同じような状況だというが、奈良市はどのような政策を行っているのかお聞きしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>奈良市も本市と似たような状況で、財源がなかなか増えない様子です。そんな中で奈良県と市が一体となってアピールしているようであります。本市も参考にし、本市に来ていただける方にはもちろん、遠方の方にも寄付をしていただけるように進めてまいりたいと考えております。</p>